

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	手取川大洪水80周年事業	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

昭和9(1934)年7月11日、手取川はかつてない大洪水に見舞われ、流域全体で死者97名、行方不明者15名を数える甚大な被害が発生した。
この大洪水から80年の節目において、災害の記憶を風化させることなく、手取川と地域の関係や歴史を再認識し、治水事業や川づくりへの関心・理解を高め、次世代に継承していくことで、治水事業の有用性の啓発や防災意識の高揚を図る。

2. 事業実施体制

主 催：手取川大洪水80周年事業実行委員会
手取川流域開発期成同盟会、国土交通省金沢河川国道事務所、石川県
協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

次の世代への伝承を主眼に、夏休み期間を中心に実施。

◆大洪水犠牲者慰霊式ほか 平成26年7月31日(木) 白山市白峰地内

- ・慰霊式(9:30～10:10)
場所：手取川大洪水遭難者供養塔
- ・手取川アウトドア教室2014(9:00～15:00)
場所：白山砂防科学館及び百万貫の岩周辺
概要：砂防科学館での学習、水生生物調査等
- ・百万貫の岩のつどい(10:00～12:00)
場所：百万貫の岩周辺
概要：体験談、災害定見、パネル展示、ビデオ放映等

◆移動パネル展

平成26年8月11日(月)～9月28日(日) 白山市内5ヵ所

◆手取川一周駅伝大会

平成26年11月16日(日)
物見山陸上競技場→天狗橋→川北大橋→物見山陸上競技場 約20km

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和9年の大水害を契機に白山砂防、手取川ダム、河川・海岸と、今なお続く上流から下流まで水系一貫の治水事業が進められるようになり、以後大規模な河川災害は発生していない。治水安全度の向上は沿川住民に認識され流域の発展を支えてきたが、一方で災害の記憶の風化を招き、手取川の特性や脅威、治水事業の存在・役割を知らない人々を増やす結果となっている。
本事業は歴史的災害の節目として啓発・啓蒙に最適の機会であり、各種行事を通じ、行政機関はもとより広く流域住民に対し、今日までの歴史を振り返り次世代への継承、また防災意識の高揚を図る一助とすることができた。



慰霊式

砂防学習



洪水の伝承



パネル展

